

車イス体験



2014年7月4日(金)
尼崎市立小田北中学校

協力

介護グループ「まどか」
尼崎市ボランティアセンター
尼崎市選挙管理委員会

街の中に、車いす用のスロープや障害者用のトイレが増えている。エレベーターを設置した駅も増えてきた。そして、ノーステップバスという乗降口に段差の無いバスが走り、乗り降りしやすくなった。

「共に生きる」社会の仕組みは、急速に整ってきている。そんな中で、車いすを足にして、街に出て行く障害者も増えだした。

しかし、私たちの「心」は、「生活」は、どうだろうか。

障害者と「共に生きよう」としているだろうか。

「歩ける」「動ける」のが当たり前だと思っている私たち。
自分が障害を持つことになるかもしれないことを想像しにくい私たち。障害者の生活も想像しにくい私たち。

乗ってみて考えよう。

押してみても考えよう。

「もし、自分が車いすの生活をするようになったら」

「もし、自分の家族が車いすの生活をするようになったら」

立って見る街と、車いすに座って見る街がどう違うのか。

階段を車いすごと抱えられるのは、どんな気持ちか。

ほんの小さな穴が、車いすにとってはどうなのか・

周りの人を、どう感じるのか。



そして、振り返ってみよう。

知らない間に、障害者の生活をじゃましてはいないだろうか。

知らない間に、障害者の生活をおびやかしてはいないだろうか。

ひょっとして、街で出会った障害者に、力を貸せることはないだろうか。

障害者との関わりを求める気持ちから

「共に生きる」心が生まれる。生活が開ける。

街で出会った障害者から、学ぶことはたくさんある。

体験するポイント

○車いすを持ち上げて、階段を降りる。

昇るとき、降りるとき両方とも、背もたれのあるほうを下にすること。

4人が呼吸を合わせる。

持つところを間違わないこと。

持ち上げる人＝車いすの重さを知る。

また介助する方法を知り、介助する人の立場を考える。

乗る人＝持ち上げられたまま運ばれる者の不安定感を知る。

○道路・スロープ・歩道等で車いすを動かす。

全員が、交代すること。

相当な力が必要であることを知る。

玄関ロビーの障害者用スロープは急で、上がりきったところでバックする危険があるので注意すること。

○段差・砂利道・凸凹道等の悪路で動かす。

舗装されていない場所

段差のあるところや、穴のあるところで、車いすの押し方を知る。

正門までの石畳はキャスターが陥没する危険性がある。

乗っている人は、人の押し方を感じ取って、自分がどのように押せばよいのかを考えること。

注意すること

1. 道路を通行するので、安全に十分気をつける。(歩道があれば使う)

2. 車いすを独り占めしない。

3. 乗り役と介助役を交替しながら、全員が体験すること。

*** 階段の踊り場で、前後の車いすの存在に気をつけながら、乗り役と介助役を交替する。**

当日の予定

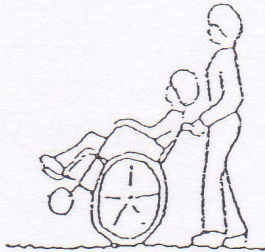
- | | | |
|---------|--|----------|
| 昼休み | <ul style="list-style-type: none">・体操服に着替える。（上：半そで，下：半パン）・美化委員は，バケツと濡れた雑巾 6 枚を体育館下に用意すること。・全生徒、体育館シューズと靴を持って体育館下に行き靴を体育館下に置き、体育館へ。 | |
| 1 : 1 5 | ・体育館に集合。 | |
| 1 : 2 5 | ・車いす教室 開始 | （司会 松本） |
| | ・挨拶 | （加藤教頭先生） |
| 1 : 4 5 | ・講師の先生のお話（講師：介護グループ「まどか」代表 安藤さん） | |
| 1 : 5 0 | ・諸注意 | |
| | ・実習体験スタート | |
| | ・スタートは、全クラス体育館下とする。1 組 3 組と 2 組 4 組でコースを分ける。 | |
| | ・ポイントに先生が立っているので先生の指示で交代すること。 | |
| | ・体育館に戻ってきたらゴール。終わり次第体育館下に降りて片付けをする。 | |
| 2 : 4 0 | ・片付けは、各クラスごとに雑巾を使い綺麗に拭いてトラックに運ぶ。 | |
| 2 : 4 5 | ・時間の許す限りで質問があれば質疑応答 | |
| | ・講師のまとめ | |
| | ・お礼 | （生徒会代表） |
| | ・あいさつ | （学年主任） |
| 3 : 1 0 | ・教室で感想文を書いて終了。 | |

雨天時の体験コース

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 体育館を出発 | （入り口の段差の押し方） |
| 階段を降りる | （車いすを担いで） |
| 職員室前廊下から玄関を通過して南校舎へ移動 | |
| 階段を上がる | （車いすを担いで） |
| 2 階中央廊下・2 階教室前を通り，体育館に到着 | |

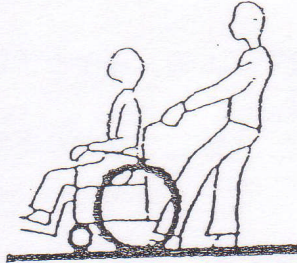
砂利道・坂道

1. 砂利道・悪路



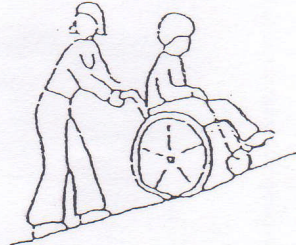
キャスターを上げ、
バランスを取りなが
ら押してゆきます。
芝生・じゅうたんにも
効果的です。

2. 下り坂



ゆるやかな坂道で
は前向きで、車い
すをひくようにし
て下る。

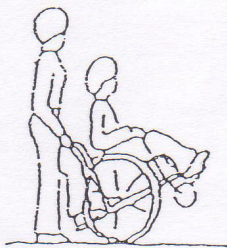
3. 急坂の下り



後向きにゆっくり
と下ります。

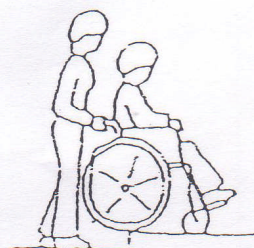
段 差

2



ステッピングバーを踏
み、ハンドグリップを
押し下げキャスターを
上げて

3



キャスターをそっと
上段へ乗せて

後輪を押しあ
げます。

※ 段差を降りるときはこの逆にします。

介助者のエチケット

1. 相手にまず何をしてほしいか、聞きましょう。
2. 見かけが同じでも、障害の種類や程度はそれぞれ違います。相手がどのような介助をのぞんでいるかを、キャッチしましょう。
3. わからないことは、危険につながりますので、無理をしてやらないようにしましょう。
4. 「車いす」の人との対話を大切にしましょう。
5. 服装はできるだけ軽装で、動きやすいものを着ましょう。
6. 介助者の姿勢は、腰痛のもとになりやすいので注意しましょう。

メモ

3年 組 番 名前